

”田んぼから生まれる” こども未来 クリエイターたち



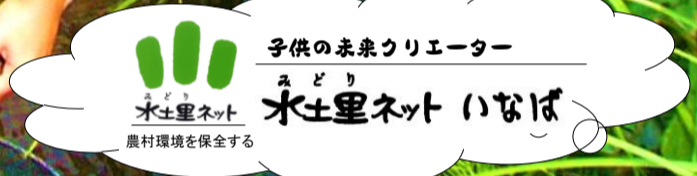
淡水魚の約4割は、田んぼと何らかの関わりがあるとされており、田んぼもそれらの生き物たちと豊かな水資源によって支えられていることをあらためて知ってもらうために、様々な体験活動のメニューを用意し、学校、地域住民、行政などを巻き込みながら取り組んでおりますが、特に水辺の体験活動では、子供達には新たな発見や興味を引き出す効果などもあり、そこからは新たな地域環境活動（こども未来クリエイター）へと発展しております。

より良い自然とは、多くの生き物がいることであり、それらの様々な生き物によって、人は生かされていることを早い時期に気付くことは大切です。

現在、子供達の純粋なまなざしの奥には、確実に次の世代へのおもいやりの心が育まれてきています。

いなほ子供未来クリエイター 《水土里ネットいなほ認証制度》

農村の環境も都市部の生活とは密接な関係を持っています。子供未来クリエイターとは、次の世代により良い環境を引き継ぐために、導入口としてまた、きっかけとして様々な体験活動に積極的に参加し、そこから自らが環境に興味を持ってまた、地域づくりの核となり、またそれをサポートできる人材を育成するために創設した資格制度です。



●農村農業体験

ここでは、主に都市部で生活する非農家を対象として、4本の柱での活動を展開しています。

- 1) 生産の環境を知ってもらう。(簡単に無農薬というが、そのために農家がどれだけの苦労をしているのかを目で見て体験してもらう)
- 2) 食への興味をもってもらう。(郷土料理などから庄内の豊かな食文化を見直すきっかけづくり)
- 3) 地元産の産直を知ってもらい、また、直売所を活用した活動プログラムをおして地域経済との密着化を図っています。(産地側への側面支援)
- 4) 都市部住民と地元住民との交流をおして、地域の活性化を図ることを目的としています。